



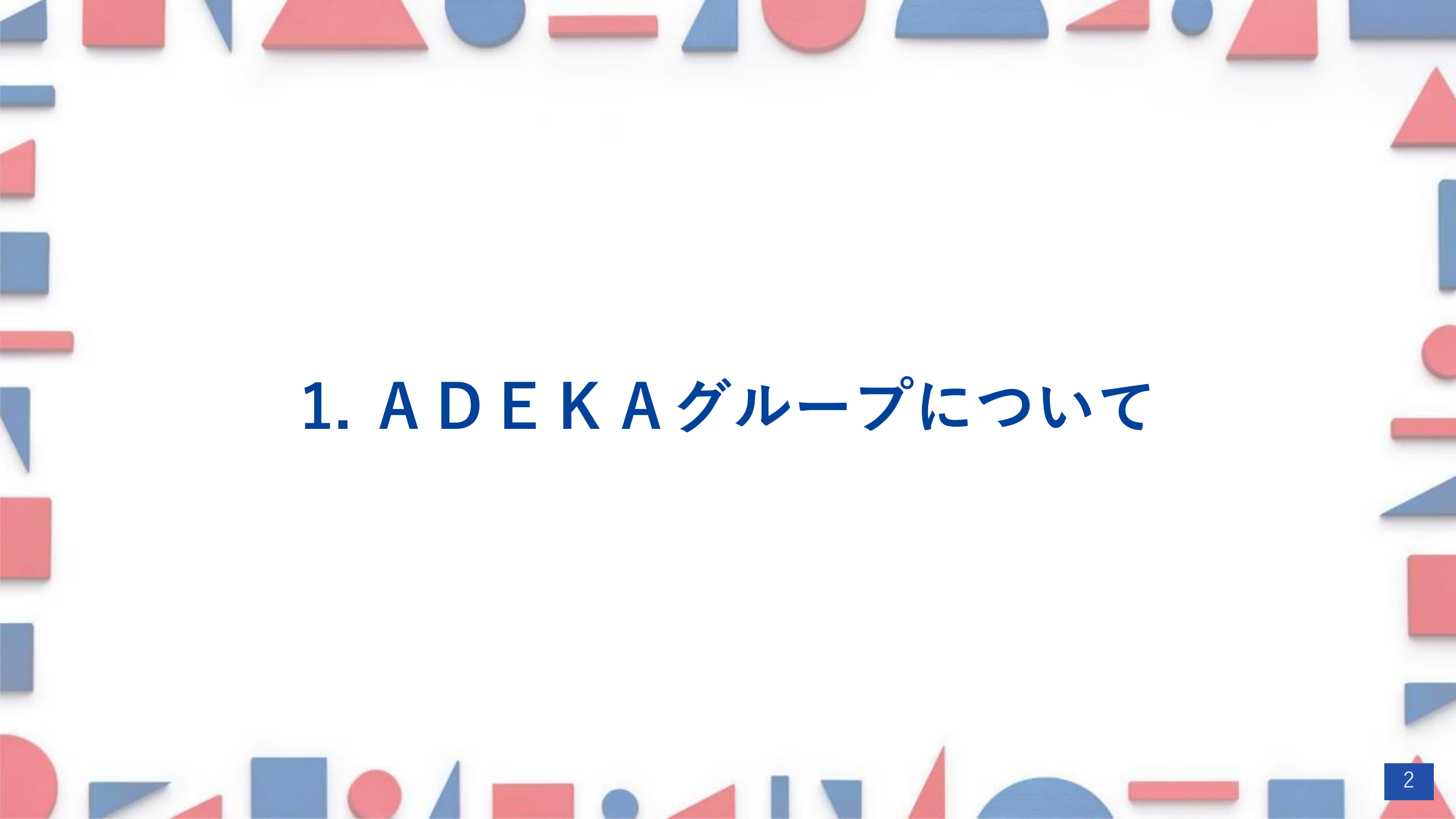
ADEKAの事業と成長戦略

2025年1月9日

【証券コード 4401】



1. ADEKAグループについて
2. ADEKAグループの業績
3. ADEKAグループの経営戦略
4. 株主還元
5. ご参考
 - 2024年度 第2四半期(中間期) 業績サマリー
 - ADEKAグループ「サステナビリティ優先課題」

A decorative border composed of various geometric shapes in red and blue, including triangles, squares, circles, and rectangles, arranged in a repeating pattern around the edges of the slide.

1. A D E K A グループについて

経営理念

新しい潮流の変化に鋭敏であり続けるアグレッシブな先進企業を目指す
世界とともに生きる



代表取締役社長 兼 社長執行役員

城詰 秀尊

□ 会社名	株式会社 A D E K A	□ 資本金	230億4,814万円
□ 証券コード	4401	□ 発行済み株式数	103,768,142株
□ 本社	東京都荒川区	□ 従業員数	(連)5,512名/(単)1,815名
□ 創立	1917年（大正6年）	□ 連結売上高	3,997億円

* 2024年3月末時点

Add Goodness

すべてのものは、今より良くできる。



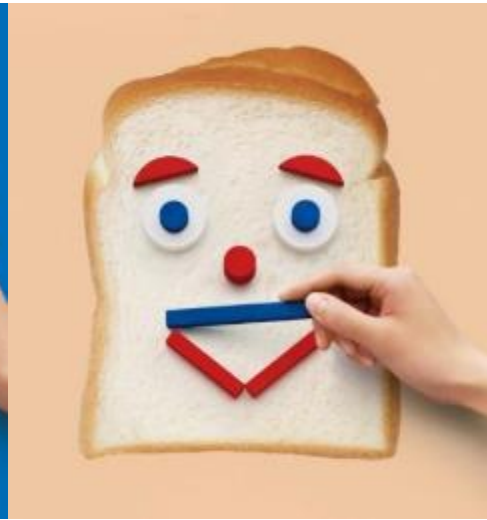
クルマの軽量化



先端半導体の
高機能化



安心・安全な
暮らし



食のサステナブル
実現



食料の安定供給

くらしを豊かにする**素財**を、幅広い分野で展開

数字で見るA D E K Aグループ

創 立



107年

時価総額



3,292億円

* 2024年3月末時点

海外売上高比率



54.2%

* 2024年3月末時点

連結子会社数



37社

* 2024年4月1日末時点

営業利益



354億円

* 2024年3月末時点

研究開発員



3人に1人

* A D E K A 単体

事業領域

ライフサイエンス事業



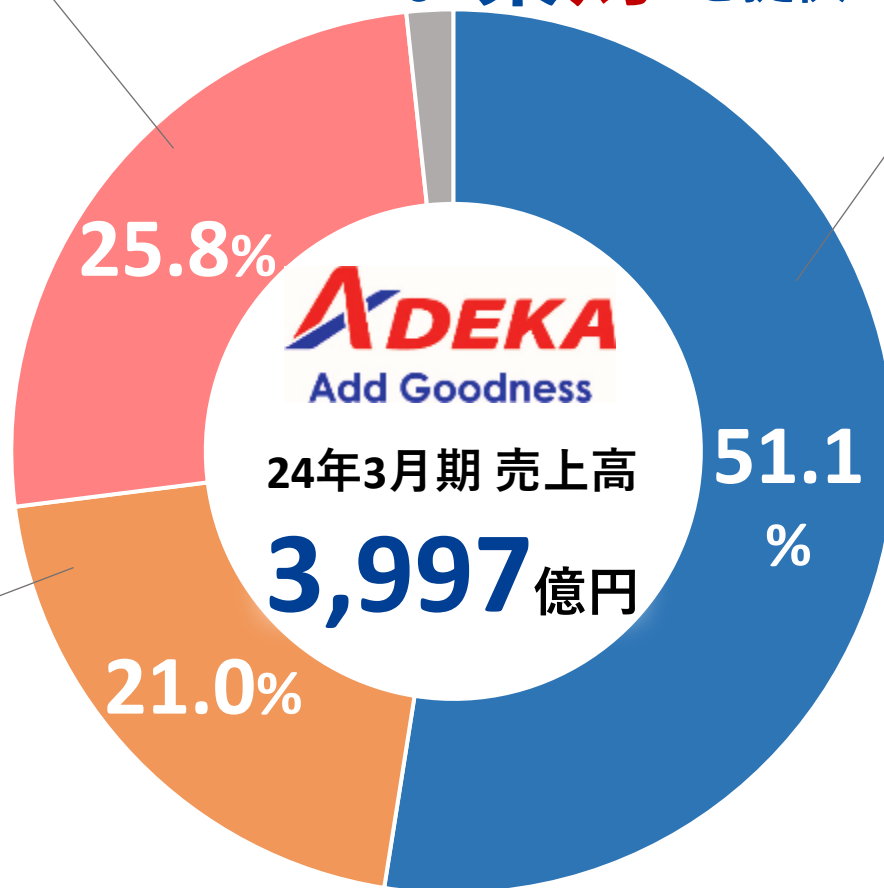
食品事業



くらしを豊かにする

Add Goodness

な“**素財**”を提供



化学品事業

樹脂添加剤



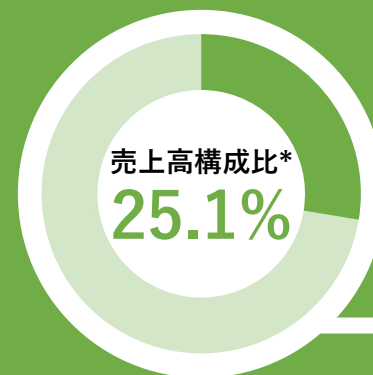
電子材料



環境材料



Polymer Additives 樹脂添加剤



売上高

1,004 億円

営業利益

79 億円

* 2024年3月末時点

樹脂に様々な機能^①を付与する役割

プラスチック

ポリプロピレン
塩化ビニル樹脂
ゴム
エンブラ
(ポリカーボネート)
etc.

- ✓ 強い
 - ✓ 長持ち
 - ✓ 加工しやすい
 - ✓ 透明
 - ✓ 燃えにくい
- etc.

自動車

外装・内装

強くて軽い樹脂

省エネ

ワイヤーハーネス

熱に強い樹脂

外装・内装

紫外線に強い樹脂

長寿命

バッテリー

燃えにくい樹脂

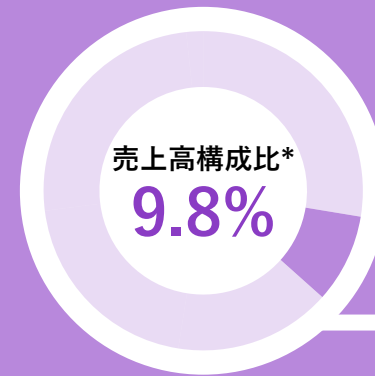
安全
・安心

電装化

世界の樹脂添加剤メーカー* で、**No.2** のポジションを堅持

* 高機能添加剤分野における当社推定

Electronic materials
電子材料



売上高
390 億円

営業利益
97 億円

* 2024年3月末時点

最先端領域

半導体

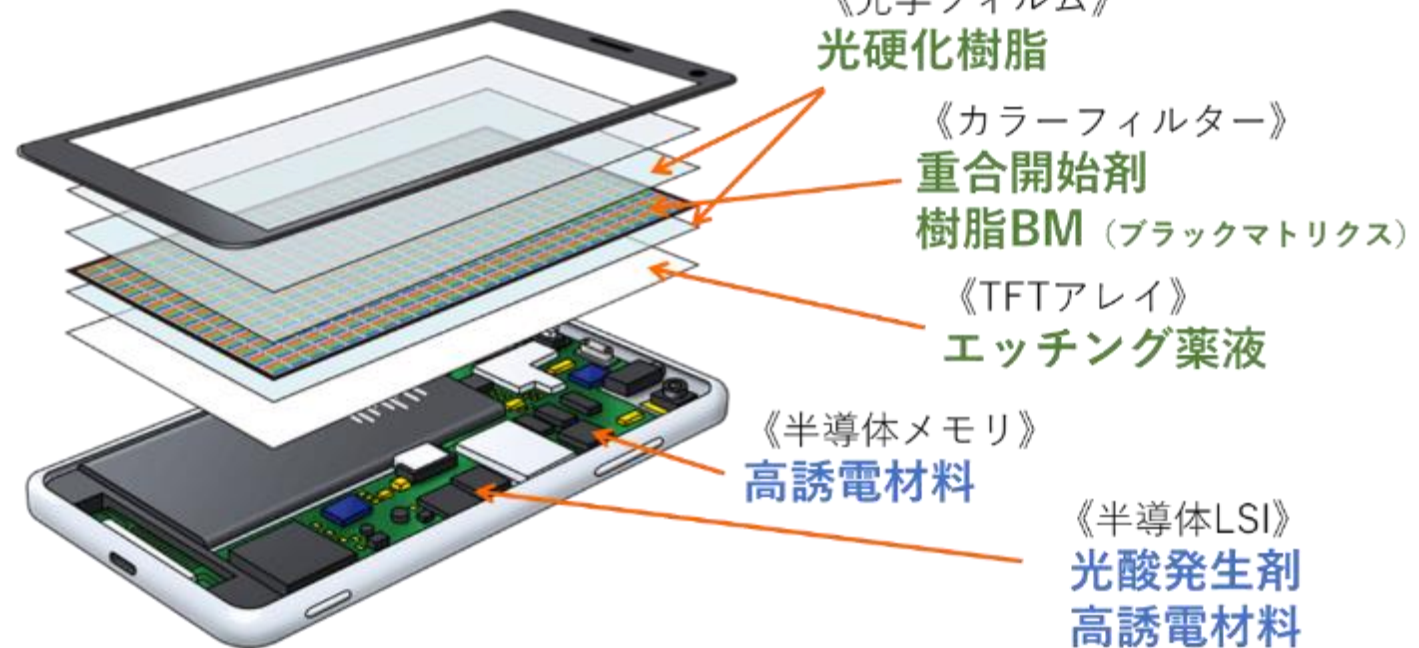


ディスプレイ



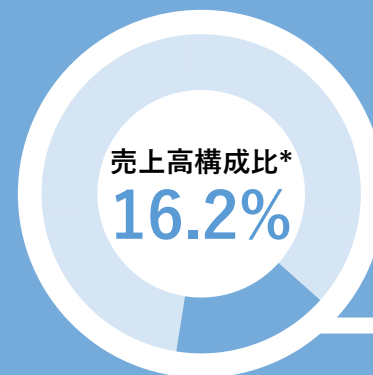
業界トップ・有力企業に
キーマテリアルを提供

スマートフォン



半導体メモリ向け高誘電材料 世界シェアNo.1

Environmental materials
環境材料



売上高

646 億円

営業利益

59 億円

* 2024年3月末時点

エレクトロ
ニクス

日用品・
トイレタリー

自動車

建築・
インフラ

化粧品

人と環境にやさしい
化学品・各種薬剤を提供

トップライン製品
(自動車)

エンジンオイル用潤滑油添加剤
「アデカサクラループ」シリーズ

新車
純正オイル



交換用オイル

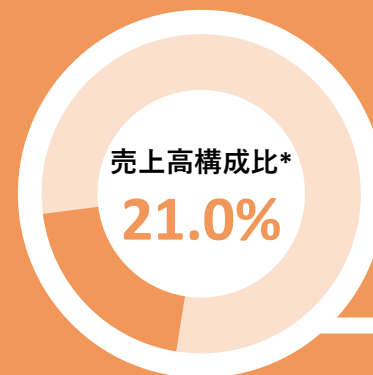


エンジン内部の摩擦・摩耗を低減

燃費がおよそ 1 % 向上 (CO₂ 排出低減)

潤滑油添加剤「アデカサクラループ」は世界**オンリーワン**製品

Food products
食品



売上高

840 億円

営業利益

41 億円

* 2024年3月末時点



パン・お菓子



洋菓子



ホテル・カフェ
レストラン

B to B

マーガリンに留まらず、
機能性油脂製品を創造・提供

マーガリン

ショートニング

フィリング

クリーム

高い技術力



“おいしさ”の
科学的な解析

社会課題を解決

環境負荷低減

食のサステナビリティ

労働力不足解消

“おいしさ持続”で
食品ロス削減

環境も 健康も
多様性も

洋菓子づくりを
ミスなく簡単に

● 高機能マーガリン

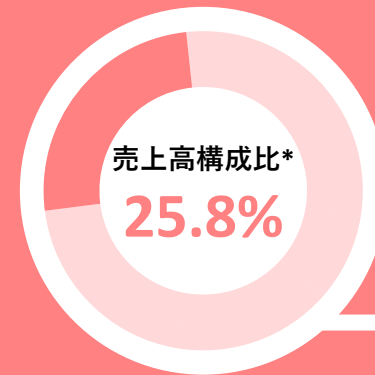
● プラントベースフード

● 生地練り込み用素材

90年以上にわたり社会課題の解決に貢献する **フードテック企業**

Life Science

ライフサイエンス



売上高

1,030 億円

営業利益

59 億円

*2024年3月末時点

事業の強み

作物増産

品質向上

研究開発力

“**3**年に**1**剤”
を掲げ

実績

新規薬剤を創出

過去
18 原体*1 / **40** 年

*1 病虫害等に効果を示す有効成分

＜農薬登録＞
世界100の
国と地域



水 稻



果 樹



野 菜

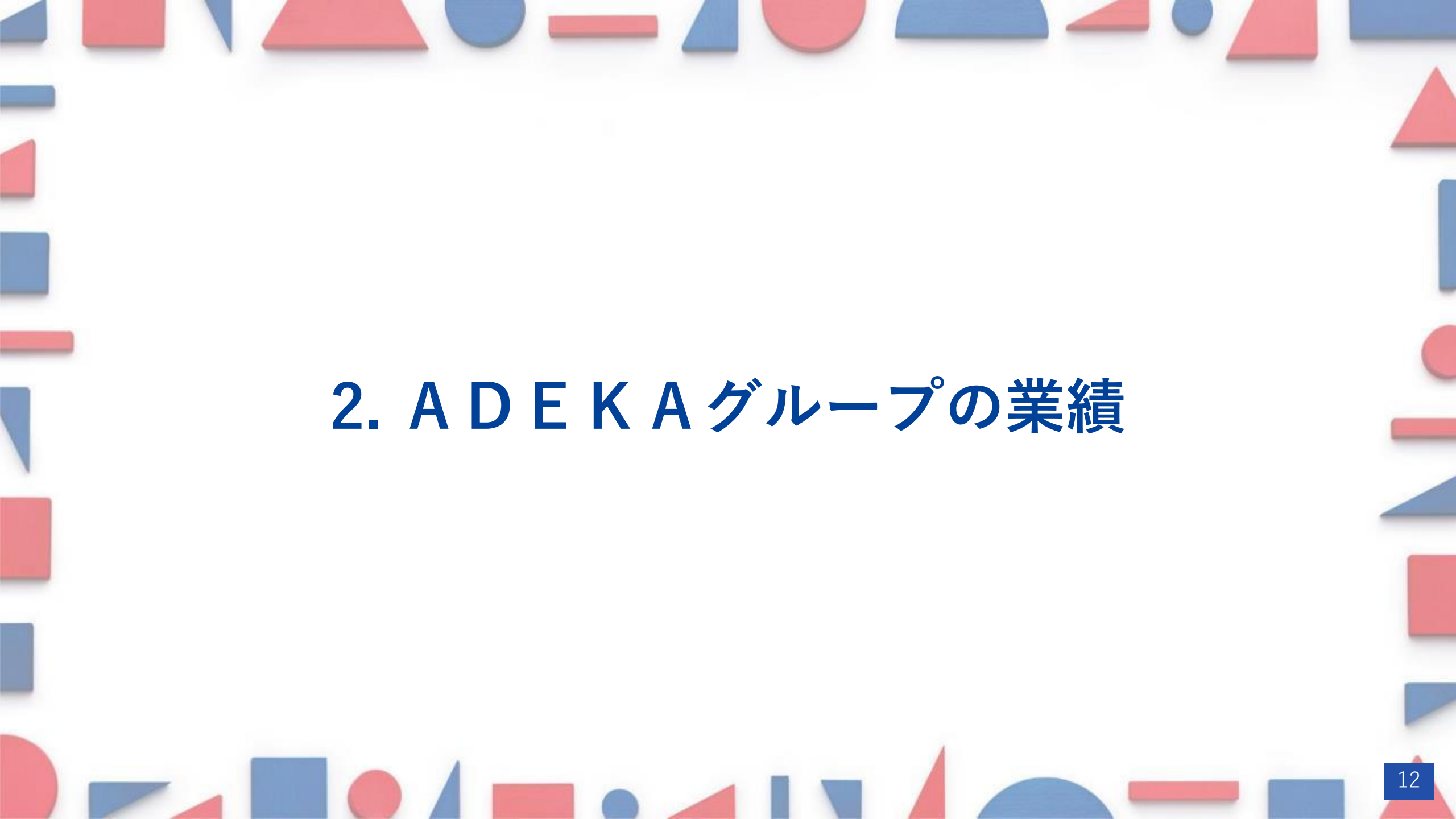
etc.

農薬がコア事業

(連結子会社：日本農薬)

「新規薬剤の開発数*2」 **世界 7 位、日本 2 位**

*2 Agbioinvestorおよび日本農薬株式会社『2024年3月期決算・中期経営計画説明会』資料「新規開発薬剤数（1980年～2021年）」をもとに当社で作成

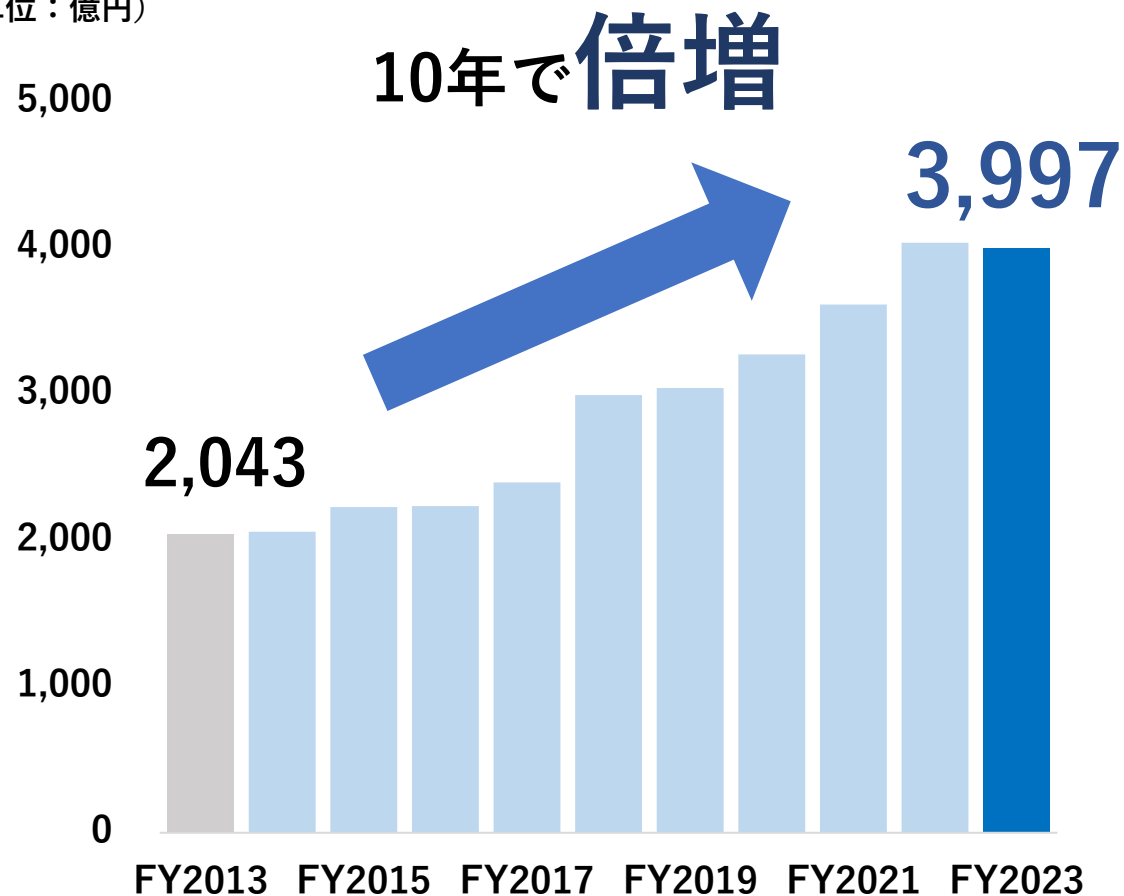
A decorative border composed of various geometric shapes in red and blue, including triangles, squares, circles, and rectangles, arranged in a repeating pattern along the top, bottom, and sides of the slide.

2. A D E K A グループの業績

売上高と営業利益の推移

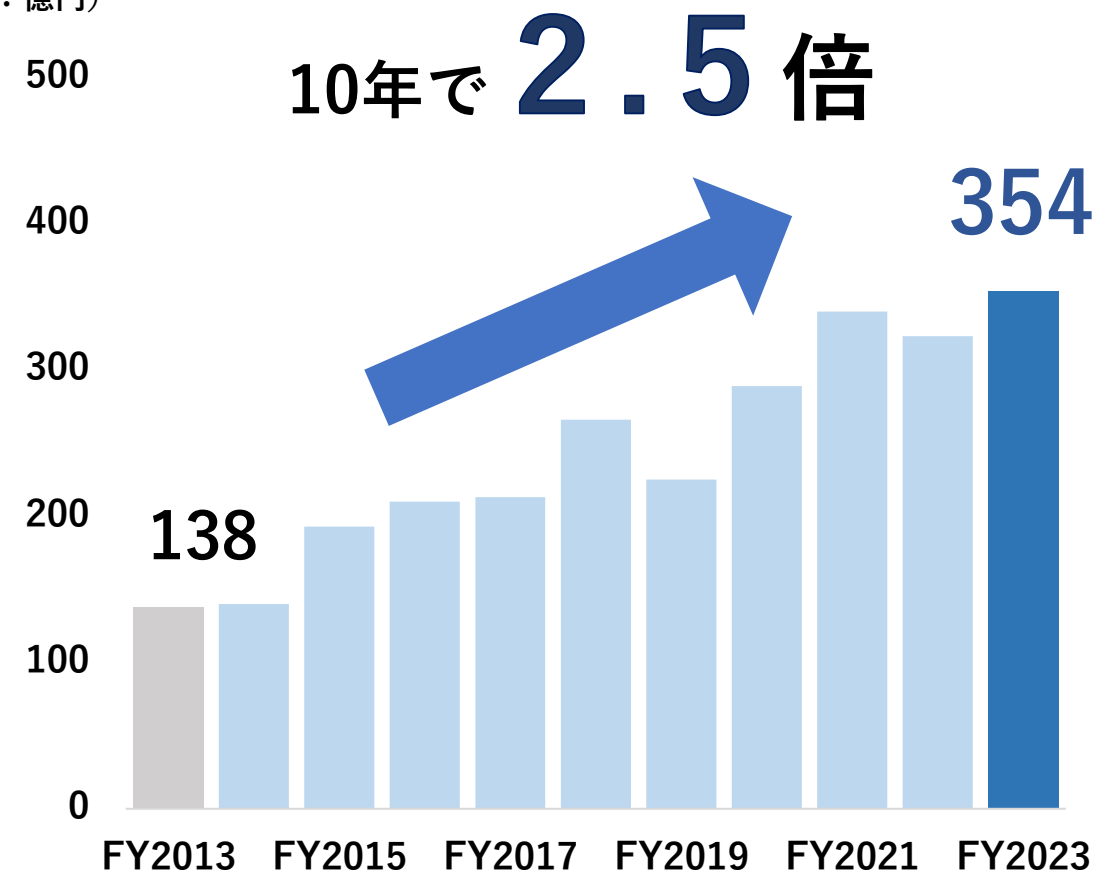
売上高

(単位：億円)



営業利益

(単位：億円)



2024年度 業績予想

過去最高

(単位：億円)	2024年 8 月予想	2024年11月予想	増減額	増減率 (%)
売上高	4,260	 4,260	0	-
営業利益	392	 411	19	4.8
経常利益	384	 392	8	2.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	242	 245	3	1.2
1株当たり 配当金額	90円	 97円	7円	

A decorative border composed of various red and blue geometric shapes, including triangles, squares, circles, and rectangles, arranged in a pattern around the edges of the slide.

3. A D E K A グループの経営戦略

ADX 2026

- ADEKA VISION 2030の実現に向けたセカンドステージ
- 利益と効率性に重点を置き、**稼ぐ力を高める**3年間
- 成長戦略としてサステナビリティを推進し、
更なる変革を実行する3年間

ADEKA VISION 2030

～持続可能な社会と豊かな暮らしに貢献する
Innovative Company～

Backcast

ADX 2026

成長戦略として
サステナビリティ推進

ADX 2023

社会価値 + 経済価値

経営指標

財務指標 (FY2026)	営業利益	530億円
	R O E	11.0%
	R O I C	10.5%
サステナビリティ 指標 *1 (FY2026)	環境貢献製品売上高	1,150億円
	G H G 排出量	199千t-CO2e *2
	女性管理職比率	6%以上 / 単体
設備投資額		750億円 / 3カ年
配当方針（配当性向）		40%以上*3

*1 A D E K A グループ サステナビリティ 優先課題に関する指標

*2 CO₂ equivalent (CO₂換算値)。様々な温室効果ガスの量をCO₂相当量に換算して統一的に表す単位

*3 適切な還元を総合的に勘案し、安定配当の維持を基本とする

セグメント別 業績目標

為替前提

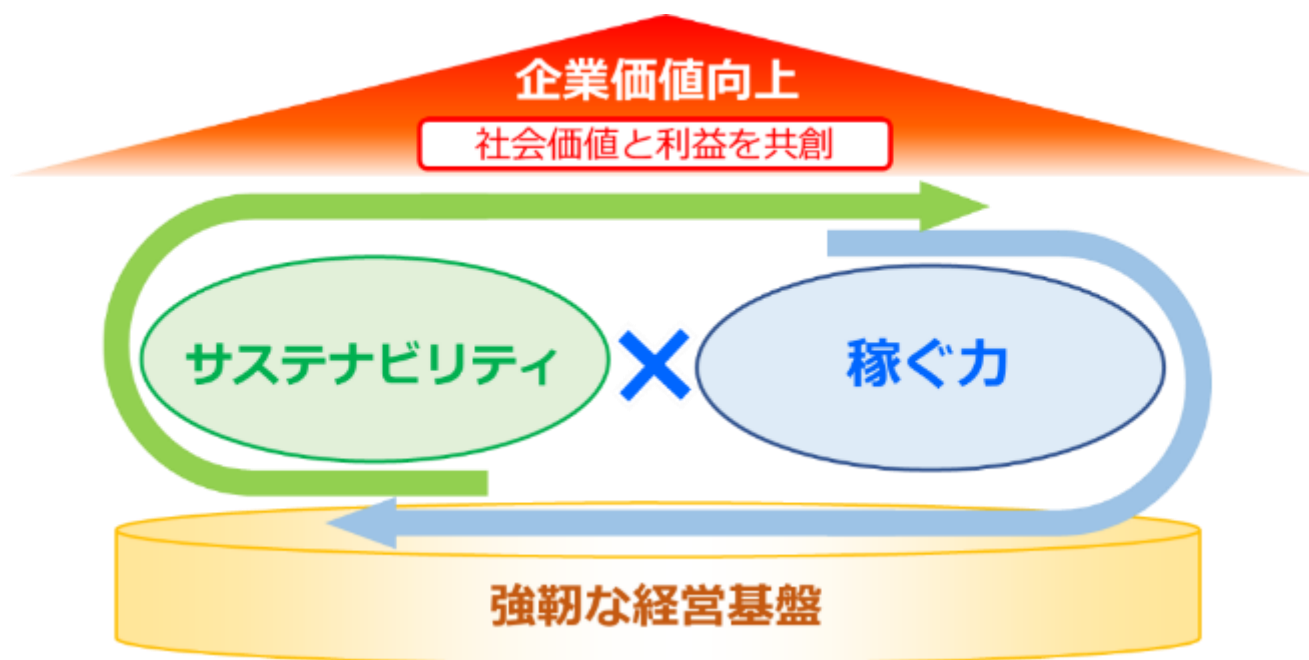
138円/\$
149円/€

FY2026 計画

FY2024 予想

	売上高	営業利益	利益率	売上高	営業利益	利益率
TOTAL 単位：億円	5,000	530	10.6%	4,260	411	9.6%
化学品	2,763	364	13.2%	2,326	295	12.7%
樹脂添加剤	1,332	109	8.2%	1,146	107	9.3%
電子材料	626	153	24.4%	460	119	25.9%
環境材料	805	102	12.7%	720	69	9.6%
食品	928	62	6.7%	827	39	4.7%
ライフサイエンス	1,200	97	8.1%	1,045	73	7.0%
その他	106	5	4.7%	62	4	6.5%

サステナビリティの推進により、 社会価値の向上と持続的な成長を実現する ～稼ぐ力・サステナビリティ・強靱な経営基盤～



基本戦略

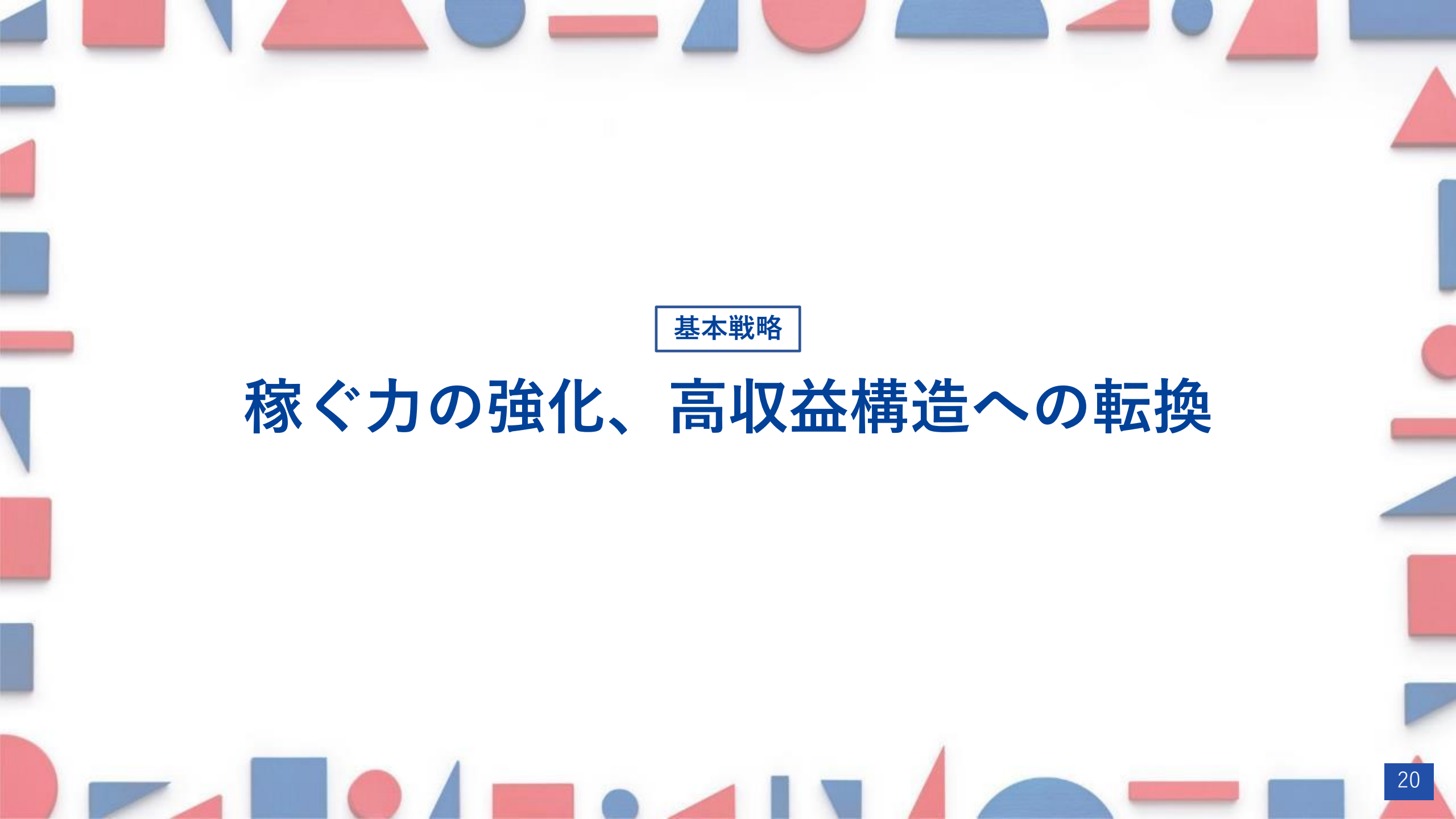
本日も説明

稼ぐ力の強化、高収益構造への転換

本日も説明

環境貢献製品の拡大、
事業構造変革によるG H G削減

経営基盤の強靱化

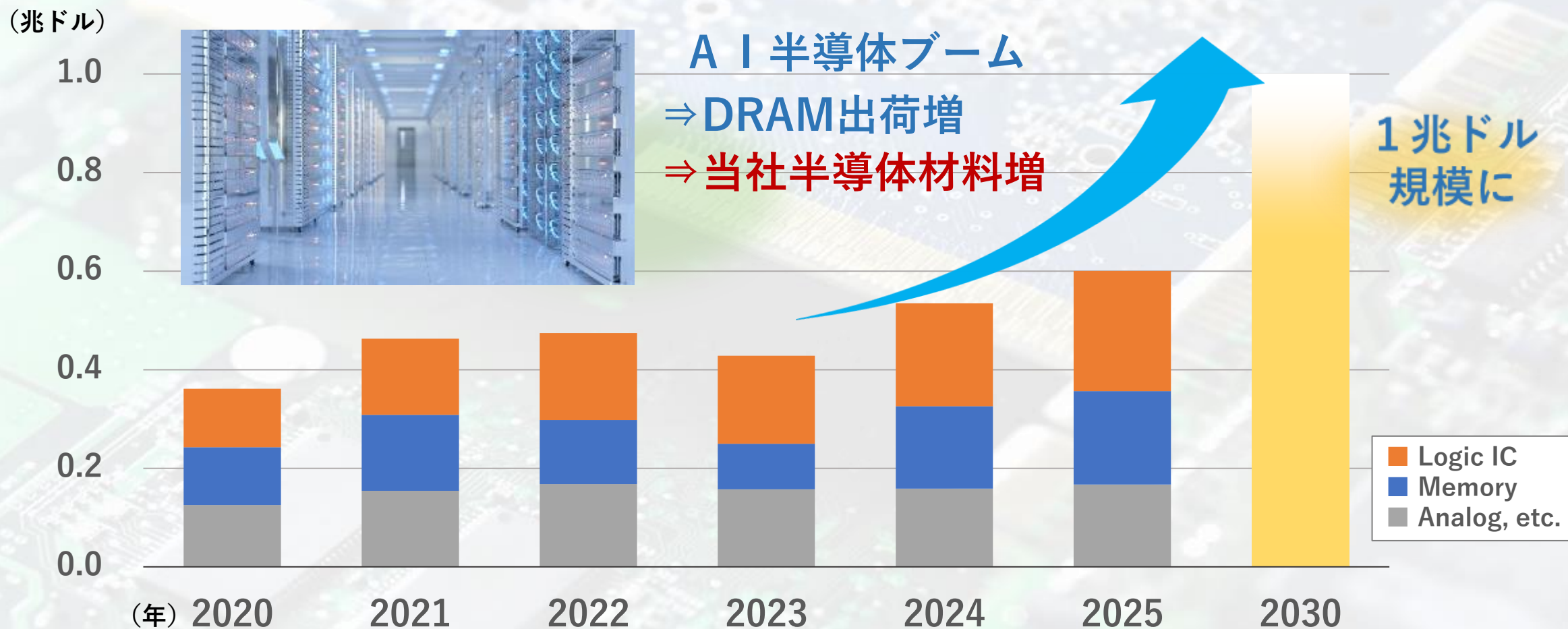
A decorative border composed of various geometric shapes in red and blue, including triangles, squares, circles, and rectangles, arranged in a pattern around the edges of the slide.

基本戦略

稼ぐ力の強化、高収益構造への転換

電子材料の拡大① 半導体市場の伸長

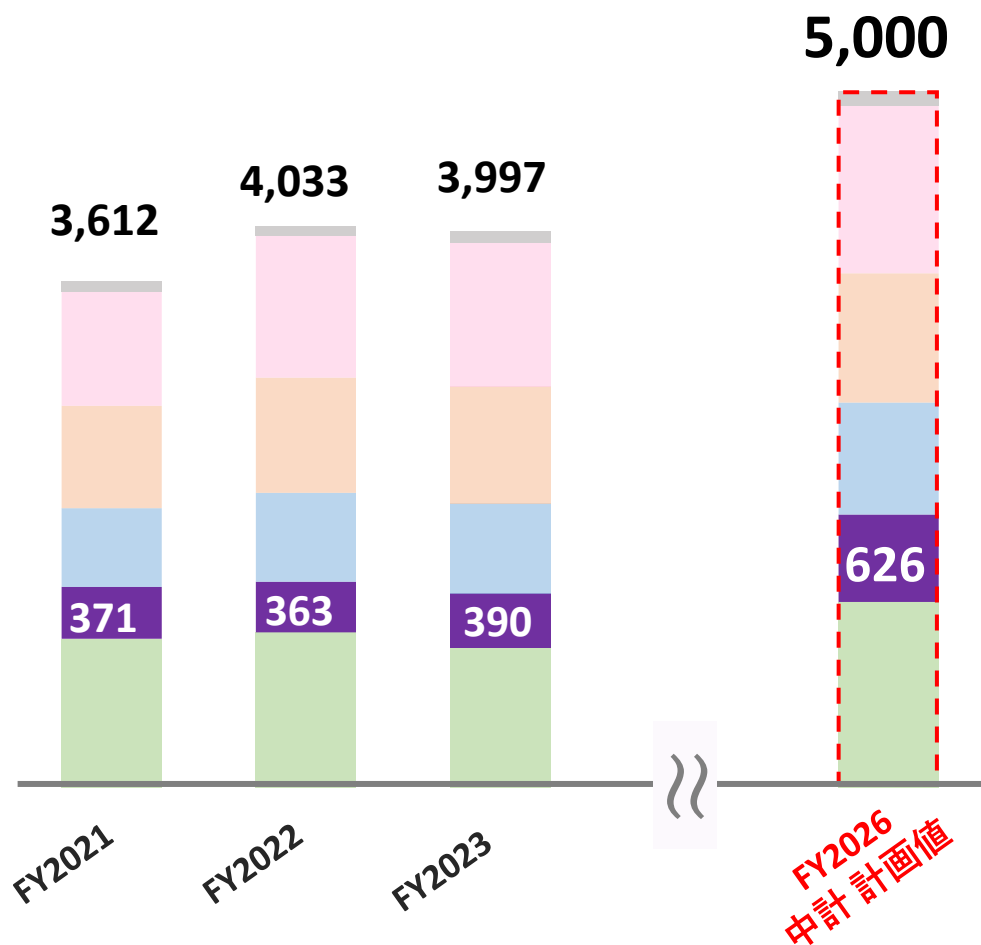
世界の半導体市場の伸長とA D E K Aの成長率は連動



※ 出典：WSTS 2024年秋季 半導体市場予測。2024年,2025年,2030年は予測値。

電子材料の拡大② 今中計では更なる“稼ぐ力”の基礎をつくる

売上高

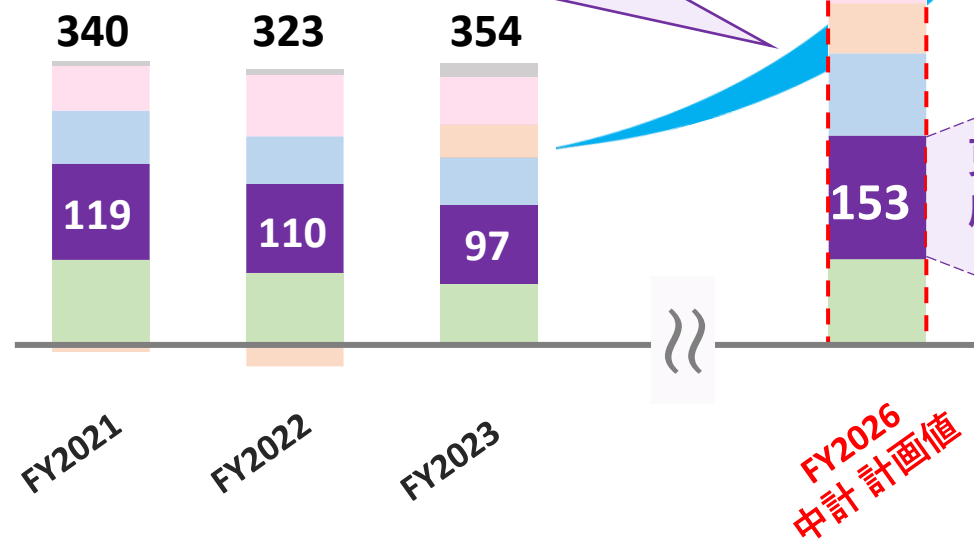


営業利益

FY2026 営業利益530億円のうち
約3割を電子材料で“稼ぐ”

<半導体材料>

- ✓ 前工程向け：世界シェア堅持
- ✓ 後工程向け：利益の柱へ育成



(単位：億円)

更なる
成長の柱
へ

電子材料の拡大③ 半導体製造プロセスとA D E K A の材料

設計

A D E K A の強み 前工程

さらなる強みを目指し 後工程

先端レジスト向け
世界シェア
No.2

*このサイクルを繰り返す

世界シェア
No.1

光酸発生剤

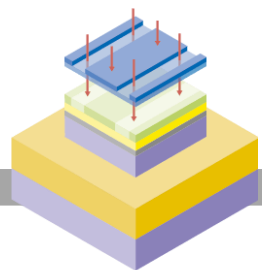
高純度
エッチングガス

高純度
過酸化水素

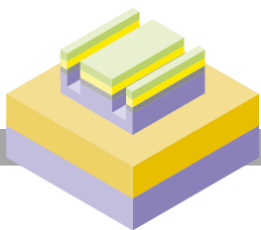
高誘電材料

超微細な回路の
形成に寄与

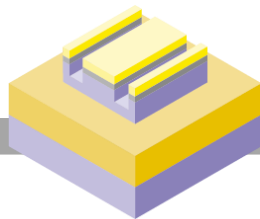
回路を通る電荷が
よりスムーズに



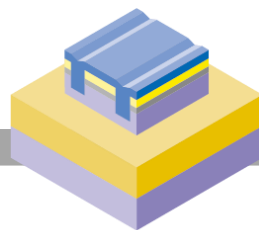
リソグラフィ



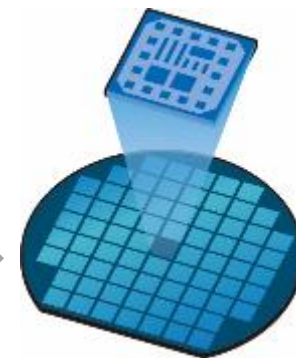
エッチング



洗浄



成膜



ウエハ完成

エッチング用途

配線材料

高純度ガス

接合用途

特殊エポキシ樹脂

放熱用途

高放熱シート

半導体の技術革新

ノウハウを 後工程 へ 拡大

電子材料の拡大④ Global Topを狙うエリア戦略

3年間で **200億円以上** 投資を実行



高誘電材料のシェア堅持と技術開発強化

前中計で投資した先端材料の
本格稼働と投資継続



▲ ADEKA KOREA
R&D Center
(延床面積7倍に拡充)



▲ ADEKA KOREA
矢継ぎ早に増設投資実行



ロジック半導体ビジネスの構築
新プラント稼働と
次世代向け投資継続



▲ 台湾艾迪科精密化学
新プラント



米国市場の開拓

23年秋に開設した
オレゴン州営業所の本格稼働



▲ 富士工場
高純度過酸化水素増能



▲ 千葉工場
光酸発生剤増能



▲ 久喜研究所「新研究棟」建設



最先端の研究・生産技術開発
+ 国内半導体製造への対応

- ・ 光酸発生剤の販売拡大と投資継続
- ・ 久喜新研究棟の建設（26年1月完工）
- ・ 高純度過酸化水素の増能

研究開発体制の再構築

26年1月
完工予定



久喜地区開発研究所

新研究棟を建設

投資金額

約100億円

延床面積

1.1万㎡
地上7階建

開発分野

半導体（ALD, パッケージ）
モビリティ・エレクトロニクス

ADEKA
基幹
研究所へ



盤石な研究開発体制で、イノベータィブな新製品の創出に取り組む

電子材料

半導体材料の総合メーカーへ育成

ALD



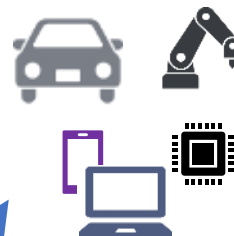
ALD
&
半導体パッケージ

環境材料

特色ある樹脂を電子材料分野へ展開



技術を
応用展開



R & D

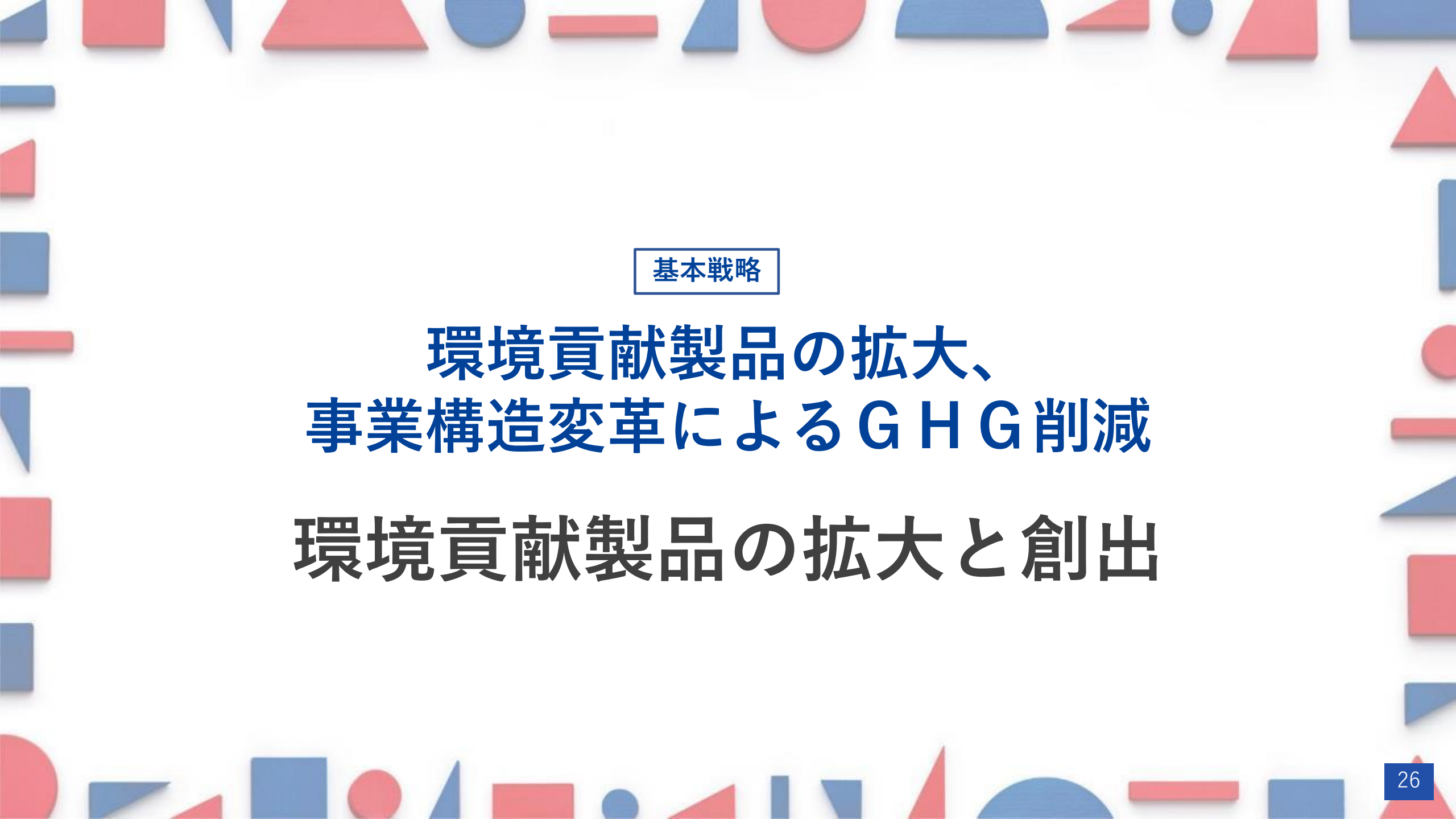
より盤石な研究開発体制を構築

基礎研究
新研究棟

尾久・浦和・久喜

評価・技術開発

ADEKA
グループ
国内外拠点



基本戦略

環境貢献製品の拡大、
事業構造変革による G H G 削減
環境貢献製品の拡大と創出

環境貢献製品の拡大と創出①

ADEKAグループ 環境貢献製品

環境負荷低減

気候変動対応

資源有効利用

左のいずれかに貢献できる
当社グループの
製品・技術

社内「サステナビリティ委員会」で認定

現在 **17** 製品

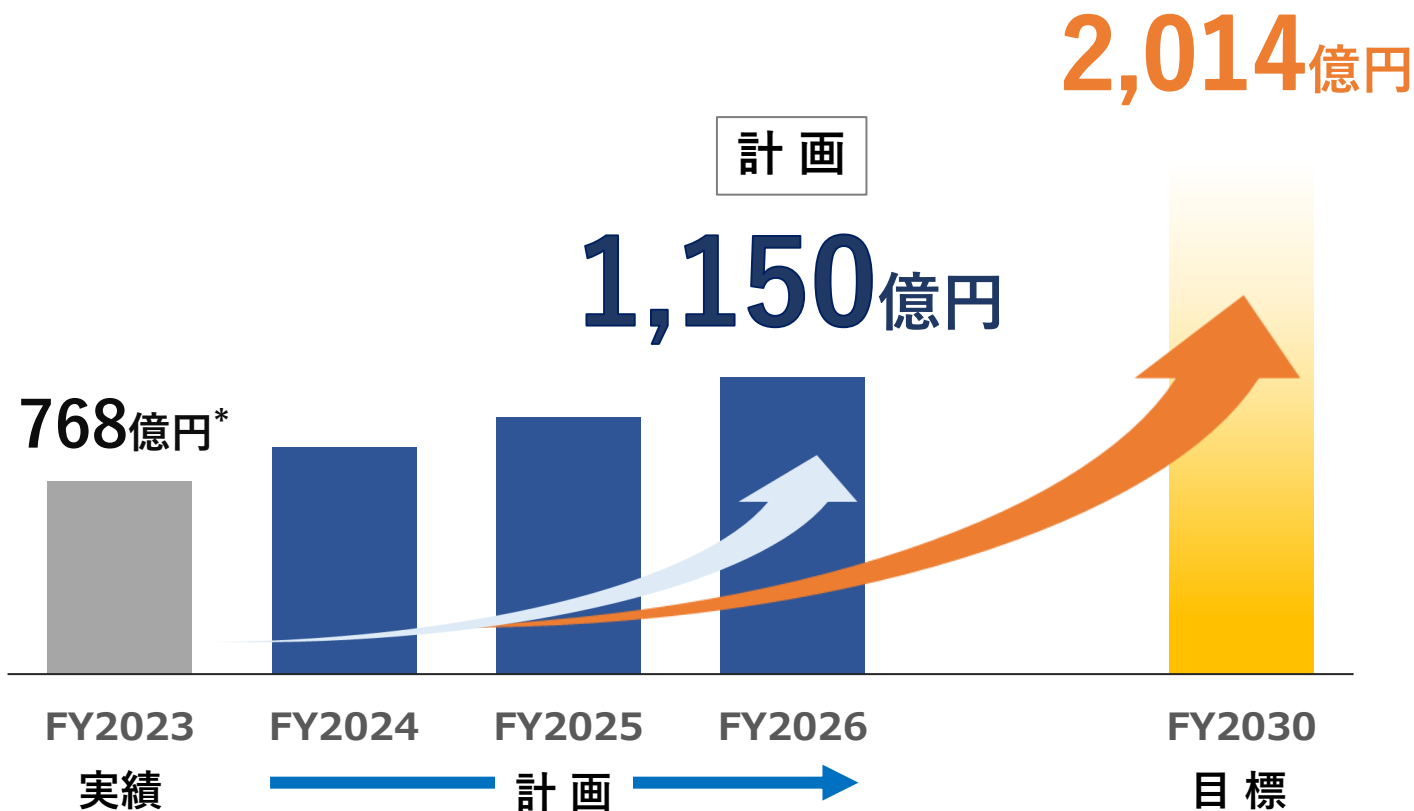
- ・ 広く社会に普及
- ・ 新たな製品創出

社会課題を解決

環境貢献製品の拡大と創出②

ADX 2026（最終年度）

環境貢献製品売上高



* FY2023実績は、環境貢献製品の見直し（追加）を適用後の数値を記載

『ADX 2026』環境貢献製品

- 脱重金属用安定剤
 - 自動車部材用核剤
 - イントメッセント系難燃剤
 - 環境対応型樹脂添加剤（リサイクル樹脂用添加剤等）
 - UV硬化材料
 - 回路形成用リサイクル材料
 - 半導体用ALD材料
 - 半導体周辺材料
 - 水系塗料材料
 - 接着材料
 - 摩擦低減潤滑材料
 - SOx低減対応材料
 - 電池材料
 - RSPO等認定製品
 - 食品ロス対応製品
 - プラントベースフード製品
 - 水稻用箱処理剤
- 樹脂添加剤
- 電子材料
- 環境材料
- 食品
- ライフサイエンス
- 本日ご説明

市場の課題

おいしさ

環境負荷低減

食の多様性



健康

労働力不足



◆ リス印マーガリン製造開始

◆ 日本初のショートニング製造

◆ ビタミン添加等機能的な油脂製品の展開

機能性マーガリン マーベラス

パンの**おいしさ**を持続
消費期限を約**1.5倍**延長

マーベラス CNC
高濃度タイプを展開

プラントベースフード Deli-PLANTS

植物由来の原料で
“乳”由来の**おいしさ**を再現

ホテル・レストラン・カフェで採用拡大
海外展開を加速

健康で豊かな食生活の実現

1929

2020

2022

2030

ADEKAは業界に“先駆けて”トランス脂肪酸を低減

ADEKAのトランス脂肪酸低減技術

油脂の物性をコントロール

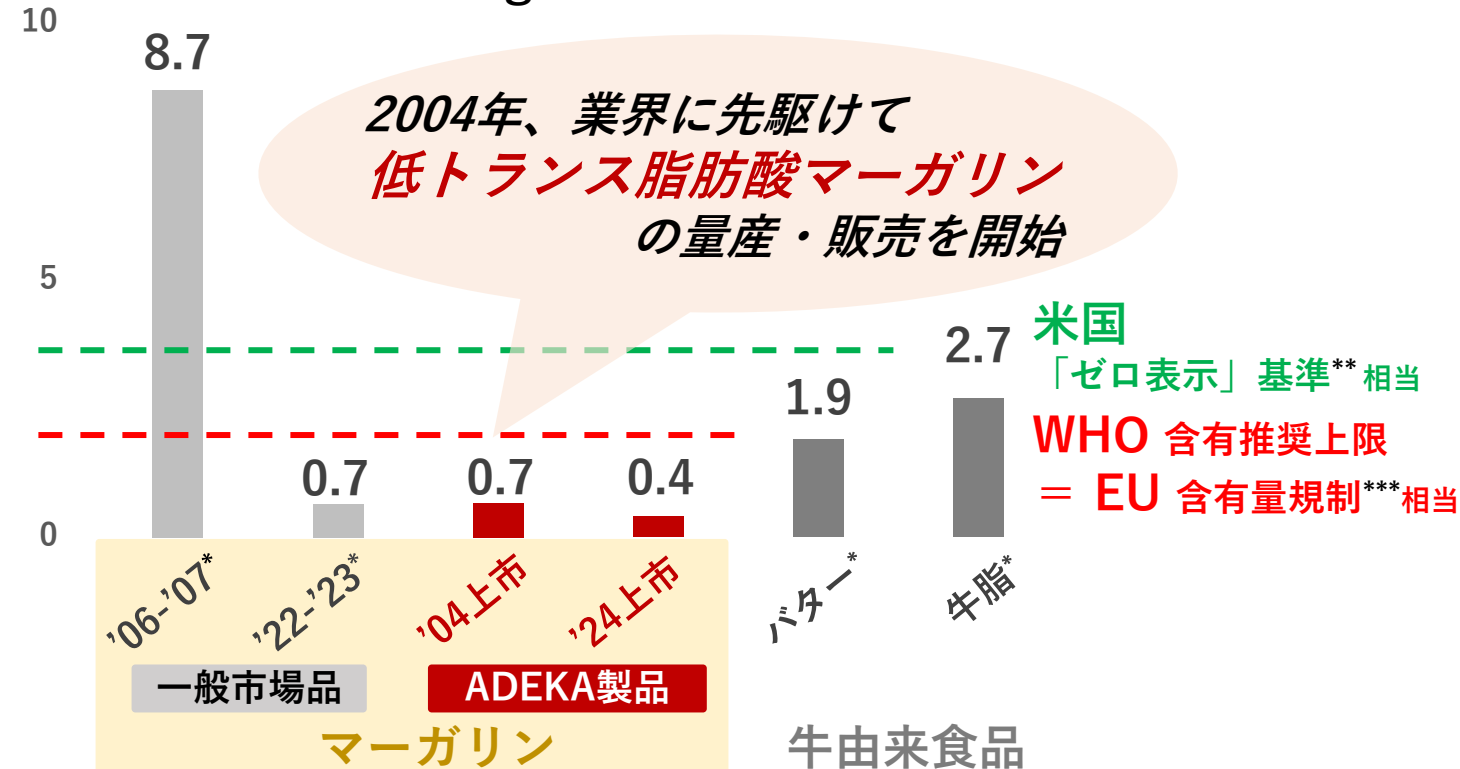
分 別 エステル交換

結晶調整

全製品

トランス脂肪酸の由来となる
部分硬化油を不使用

(g/食品100g) < 食品100g中のトランス脂肪酸の含有量 >



*出典：農林水産省平成18・19年度調査結果／同 令和4・5年度調査結果より抜粋（ADEKA製品は当社原料データからの計算値）

トランス脂肪酸：0.5g/15mL未満≒3.7g/100g *トランス脂肪酸(天然由来を除く)：油脂中2g/100g未満≒マーガリン中1.6g/100g

カーボンニュートラル実現に資する新規事業の創出

低炭素かつ持続可能な社会の実現に向けて、
当社独自の材料で次世代／革新二次電池の早期実用化に挑戦

二次電池

現在はリチウムイオン二次電池が普及

軽量化・小型化

安全性の向上

長寿命

充放電性能の向上

脱レアメタル



性能向上 +
新しい材料・プロセスの適用

新技術の創出

エスパン
SPAN

(次世代二次電池用活物質)



▲SPANの外観

入手しやすい

硫黄 + 繊維原料

SPANを正極に用いたセルは、
寿命と軽さのバランスに優れ、
電池の高性能化を可能に

2018年～

コーポレート研究
(開発、製法・量産化検討)

2024年

事業に組入れ

環境材料本部

電池材料研究所

早期事業化へ

次世代電池用材料

SPAN アデカアメランサ SAMシリーズ

- ✓ 2024年7月 事業本部へ組織変更（環境材料本部 電池材料開発研究所）
- ✓ SPANを用いた様々なテストセルの試作・実証を積極開示、産官学連携

軽量性と寿命を両立した
リチウム-硫黄二次電池
(500 Wh/kg-cell & 200サイクル以上)



世界最軽量のリチウム-硫黄二次電池
(重量エネルギー密度 800 Wh/kgで
現行LIBの約1/3の重さ)

素材メーカーながらSPANを使った
二次電池の試作・実証を積極的に公表

高温で作動する
全固体型リチウム-硫黄二次電池
(60～150℃で作動)

樹脂箔を集電体に使用した
新型リチウム-硫黄二次電池
(軽量性・安全性・実用性)



リチウム-硫黄二次電池による
ドローン飛行
(現行LIBの1.8倍の飛行時間)



2026年度までに飛行体向けでの実用化を目指す

樹脂添加剤の拡大① 透明化剤のシェア拡大

透明化剤 トランスパレックス

英名「TRANSPAREX」
製品名(和名)「アデカトランスパレックス CAシリーズ」
製品名(英名)「ADK TRANSPAREX CA series」

- ✓ ポリプロピレンに **世界最高の透明性***を実現する新製品
- ✓ 2024年11月から 米国・アジア圏を中心に販売開始（国内外で生産）

既存品を凌駕する、圧倒的な透明性

“超高透明”なポリプロピレンの実現

シェア奪取

ポリプロピレン市場の拡大
+ 他の透明樹脂からの代替（新市場創出）

■ 当社シェア（グローバル）

14%

現在



60%以上

2030年目標

■ 透明化剤の市場規模（グローバル）

300億円

現在



500億円超

2030年目標

透明化剤の連結売上高 300億円、**世界シェアNo.1**を目指す

*ポリプロピレンの透明性を厚さ1mm試験片で測定（Haze値）。当社試験によると市場におけるこれまでの最高性能はHaze値:3.2。
トランスパレックスを添加したポリプロピレンはHaze値 ≤ 2.0 を実証。Haze値が低いほど透明。（2024年11月1日時点、当社調べ）

樹脂添加剤の拡大② 新規透明化剤

Point 1 世界最高の透明性

トランスパレックスを
少量添加



写真左：ポリプロピレンにトランスパレックスを
0.1%添加した試験片（厚さ1mm）

Point 2 “今までにない”を実現

ポリスチレン
PET
(一般的な透明樹脂)

ポリプロピレン+
トランスパレックス

ポリプロピレン

透明性

両立

耐熱性・耐薬品性

環境配慮*

* ポリプロピレンは、リサイクルしやすく環境にやさしい樹脂

ポリプロピレンへの市場シフトが加速
様々な市場の要望に応じていく

- 電子レンジ加熱に対応した透明性の高い食品容器
 - 耐薬品性が求められる医療器具や化粧品ボトル
- ... and more



食品包装・容器



医療器具



化粧品ボトル



自動車部材

4. 株主還元

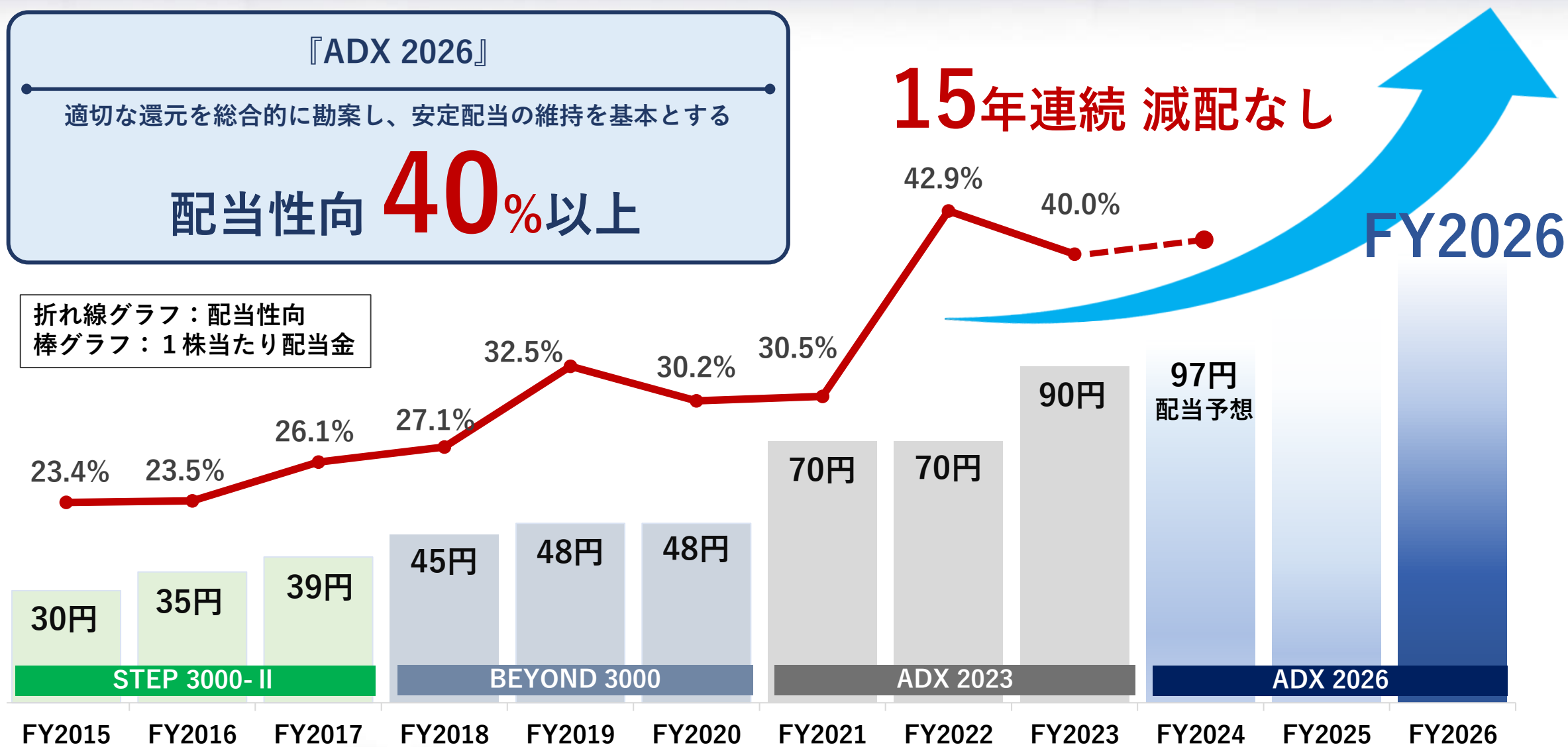
配当方針

『ADX 2026』

適切な還元を総合的に勘案し、安定配当の維持を基本とする

配当性向 **40%以上**

折れ線グラフ：配当性向
棒グラフ：1株当たり配当金



2025年3月期の配当予想（増配）

◆ 中間配当で1株につき **48 円** を実施（前回予想比 + 3 円 増配）

◆ 期末配当は1株につき **49 円** を予想（前回予想比 + 4 円 増配）

年間配当（予想） **97 円／株**

配当性向

40.3%

* 2025年3月期予想

配当利回り

3.4%

* 2024年12月末時点

ADEKAについて、詳しくはこちらから！

投資家情報
(当社IRサイト)



地味だけど、すごい。
素財のアデカ



 公式チャンネル





Add Goodness

野村 I R 資産運用フェア アンケート

アンケートにご協力をお願いいたします

株主・投資家の皆様のご意見をもとに、より一層の I R の改善・充実化に取り組んでまいります

Q1. 当社をどの程度ご存知でしたか。

- (1) 事業内容も知っていた
- (2) 社名程度は知っていた
- (3) 全く知らなかった

Q2. 当社への投資について、どのようにお考えですか。

- (1) 投資（買い増し）を考えたい
- (2) どちらとも言えない
- (3) 投資は考えられない

Q3. 当社について、ご意見・ご感想があればご自由にお書きください。

回答はこちらから！

<読取用 QRコード>



A decorative border composed of various red and blue geometric shapes, including triangles, squares, circles, and rectangles, arranged in a pattern around the edges of the page.

ご参考

2024年度 第2四半期(中間期) 業績サマリー

(単位：億円)	2023年度 中間期	2024年度 中間期	増減額	増減率 (%)
売上高	1,876	1,950	74	4.0
営業利益	147	182	34	23.6
経常利益	155	168	13	8.6
中間純利益	105	114	9	8.9
1株利益	103.2円	112.5円	9.3円	

ADEKAグループ「サステナビリティ優先課題」

『ADEKA VISION 2030』の実現に向けて、サステナビリティ優先課題「2030年KPI」を見直し

サステナビリティ優先課題		2030年 KPI
E	地球環境の保全	オールADEKAでアイデアを結集し、2050年：カーボンニュートラルを目指す (2030年：2013年度比46%削減 (Scope 1 + 2))
	環境貢献製品の提供	「環境貢献製品」売上高：2019年度比3倍に拡大
S	社会の期待に応える価値創出	「ADEKA Innovative Value (AIV)」認定件数：2019年度比倍増
	ステークホルダーとの対話	<u>ステークホルダーとの健全な関係の維持向上</u>
	人権の尊重	<u>人権に関する取組みの高度化</u> (<u>人権デュー・ディリジェンスの推進／苦情処理メカニズムの構築・運用／人権教育・啓発活動の推進</u>)
	人財活躍の機会拡大	DE&Iの推進 <u>管理職の多様性確保の推進</u> - 女性管理職比率: 10%* - 外国人・経験者採用管理職比率：各々の従業員比率と同等*
		風土醸成 <u>従業員エンゲージメントの向上*</u>
	健康経営の推進	「健康経営優良法人(ホワイト500)」認定取得 (<u>ADEKAグループ(国内)</u>)
G	グループガバナンス・リスクマネジメントの強化	<u>グローバルで「ADEKAグループ行動憲章」の浸透を図る</u> <u>グループ全体の平時／有事のリスクマネジメント体制の構築・運用</u>

* ADEKA単体

カーボンニュートラルに向けたG H G排出量削減

ロードマップ

オールA D E K Aでアイデアを結集し、

2050年：カーボンニュートラルを目指す

2030年：2013年度比46%削減 (Scope 1+2)

G H G排出量

ADX 2026 (最終年度)

計画

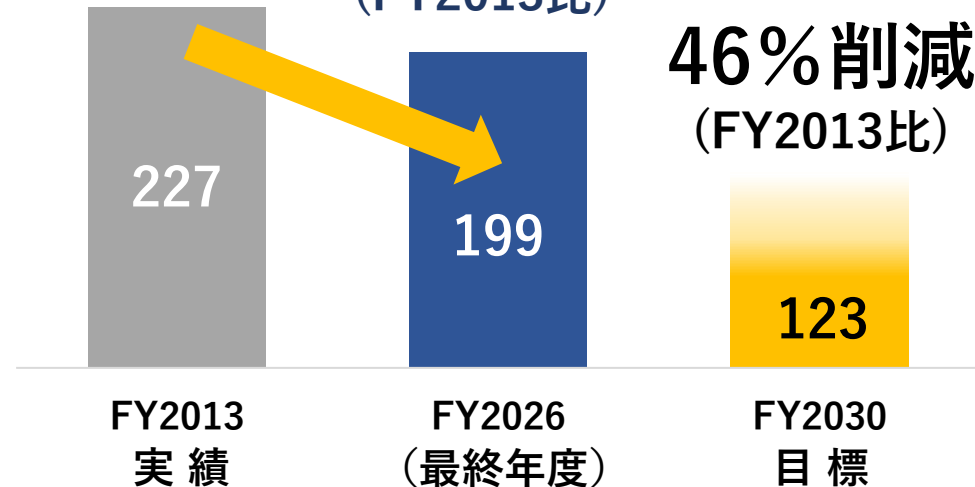
199千t-CO₂e
(2013年度比 13%削減)

(単位：千 t-CO₂e)

計画

13%削減
(FY2013比)

46%削減
(FY2013比)



カーボンニュートラルに向けた推進戦略

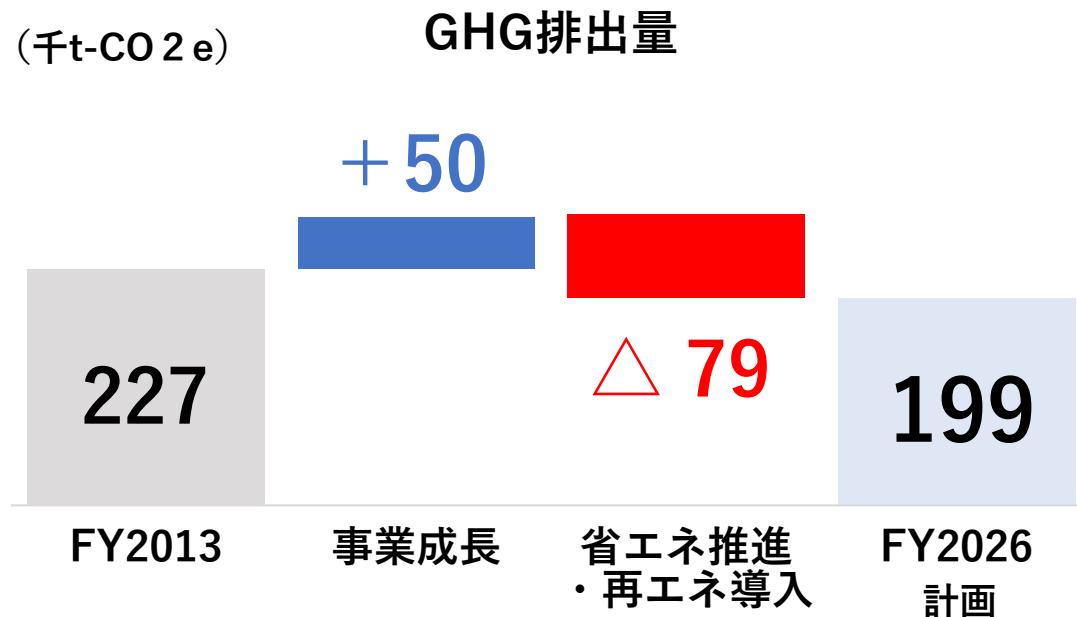
GHG*1 削減

製品構成見直し

エネルギー原単位の削減

環境貢献技術の開発

再生可能エネルギーの導入



● 省エネ推進の主なアクションプラン

環境材料

重油からLNGへの
燃料転換（相馬工場等）



▲ 相馬工場（アデカサクラループ等）

樹脂添加剤

製品ミックスの最適化

食 品

生産工程の最適化

■ GHG排出量の可視化を推進（GHG管理精度向上、CFP*2算定、ICP*3導入）

■ カーボンニュートラル関連の投資実行（3カ年合計：86億円）

*1 GHG：温室効果ガス *2 CFP：カーボンフットプリント（製品・サービスに係る温室効果ガス排出量を二酸化炭素量に換算し表示するもの）

*3 ICP：インターナルカーボンプライシング（企業内部で独自に炭素に対し価格を付け、低炭素投資・対策を推進するため使用する仕組み）

人権に関する取組みの高度化

グループ全体で人権リスク低減に取り組み、
サプライチェーンにおける人権を尊重する

人権方針の策定

ADX 2023

ADEKAグループ人権方針
2022年2月策定

人権デュー・ディリジェンスの推進

ADX 2026

救済・是正

- ①人権影響評価
 - ②負の影響の防止・軽減策の実行
 - ③モニタリング
 - ④情報開示
 - ⑤苦情処理メカニズムの構築・運用
- 人権に関する苦情処理の仕組みをグローバルで構築
(JaCER「対話救済プラットフォーム」活用)

従業員に対する人権教育・啓発活動の推進

ダイバーシティ・エクイティ & インクルージョンの推進

DE&I*の推進

多様性を受け入れ、能力発揮における公平性を確保することで、自社の成長に活かす

*ダイバーシティ・エクイティ & インクルージョン

プロジェクト発足

ADX 2023

DE&Iプロジェクト
9つの施策策定・実行
(2022年)

多様な人財の活躍機会拡大

ADX 2026

2026年 女性管理職比率 **6%以上*** を目指す

- ✓ DE & I の理解浸透・風土醸成
- ✓ 職群固有の課題への対応
- ✓ 公平性を確保する施策の推進
- ✓ セルフ・キャリアプランの構築と推進

* A D E K A 単独

	FY2023	FY2026 計画	FY2030 目標
全 社	5.4%	6%	10%

女性活躍推進を軸にグループ全体へ拡大、多様な属性を活かす施策を促進

コーポレートガバナンス

実効性のあるコーポレートガバナンスを構築し、
強靱な経営基盤のもと迅速・果断な意思決定を行う

経営体制の変革

ADX 2023

- ・ 委任型執行役員制度を導入
- ・ 指名・報酬委員会委員長を独立社外取締役へ
- ・ 非財務指標を用いた役員報酬制度を導入

ADX 2026

コーポレート・ガバナンスの高度化

① 取締役会の機能強化と実効性向上

② 株主との対話を推進

③ 社外取締役の機能強化

取締役 10 名

社外取締役比率 50 %
取締役女性比率 10 %

社内取締役 5 名

社外取締役 5 名



取締役監査等委員 3 名

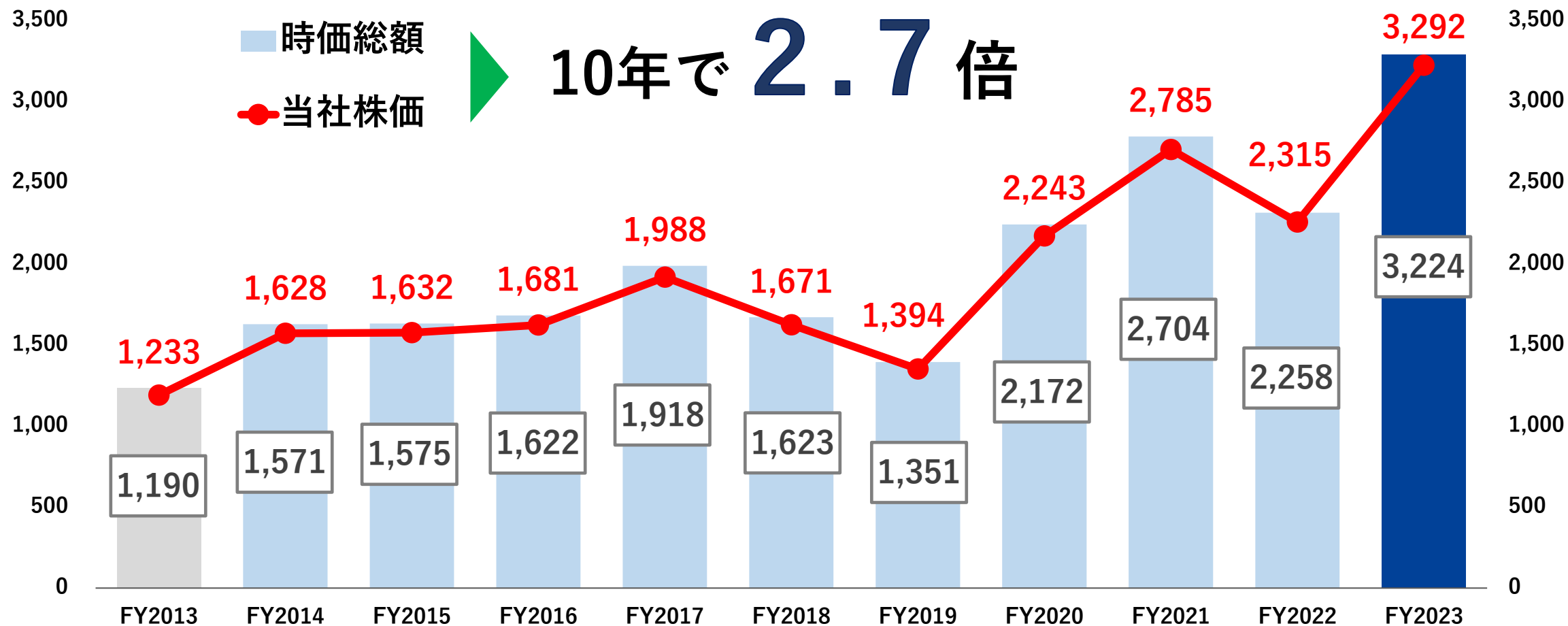
●男性 ●女性

サステナビリティや企業戦略等、
経営の大きな方向性に関する議論を充実させ、企業価値の向上を目指す

当社の時価総額と株価の推移

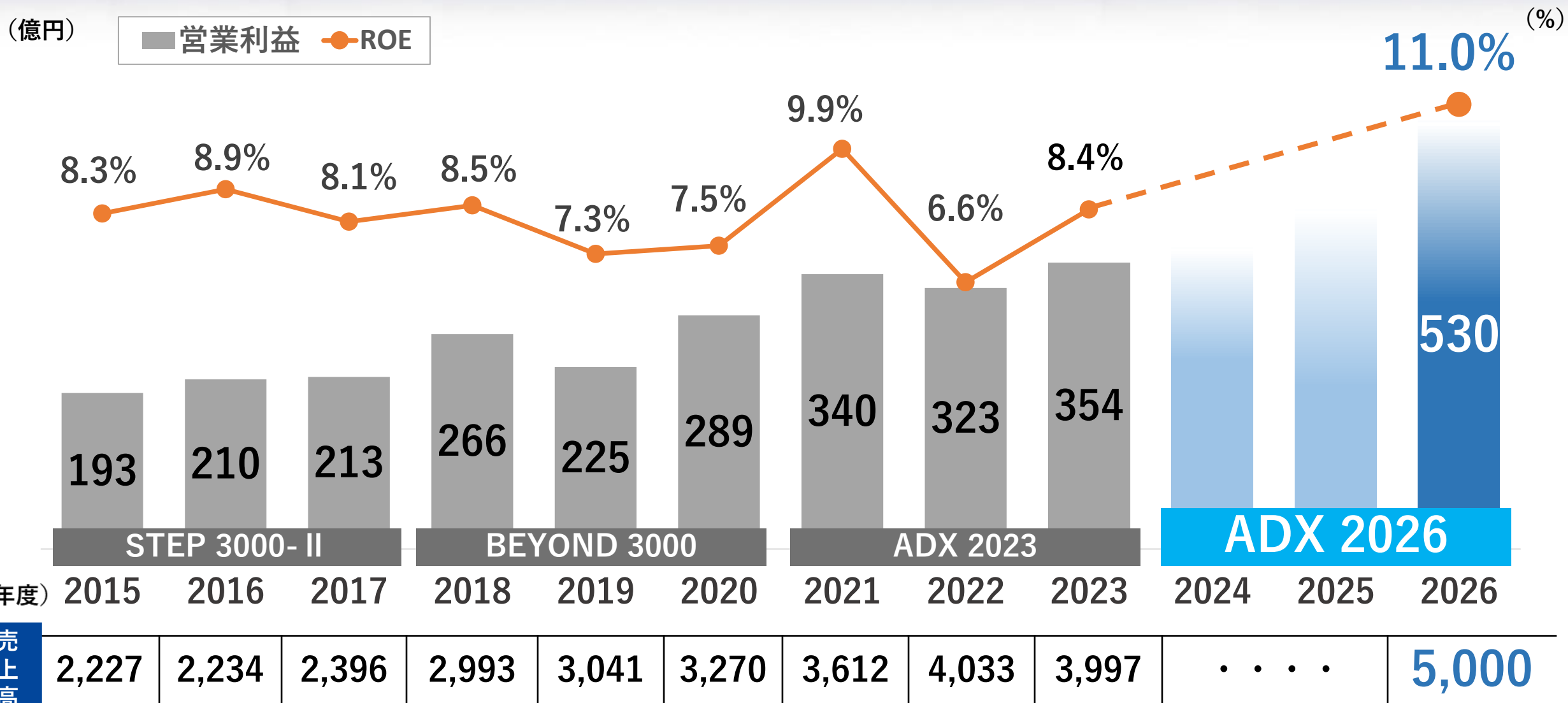
左軸：時価総額（億円）

右軸：株価（円）



注）当社株価は各年度末日の終値ベース、時価総額は当社株価（年度末日・終値）×発行済株式総数

ADEKAは『ADX 2026』で持続的成長を実現します



免責事項

本資料に記載されている業績予想、事業計画は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び種々の前提に基づき作成したものであり、実際の結果は今後生ずる様々な要因によって、予想、計画と異なる場合があります。

用語の定義

- ・ FYはFiscal Year（＝年度）
- ・ 金額は億円未満を切り捨てて表示
- ・ 比率は小数点第2位を四捨五入